

ご存じですか！文化財

59

「大越三耕地の獅子舞」

市指定無形民俗文化財 昭和34年6月16日指定



問合せ
生涯学習課
☎0480・62・1223



所在地 大越2550

また、7月の第2週の土曜日とその翌日の日曜日に前夜祭と大祭が行われ、前夜祭には、鷲神社に奉納する獅子舞の祭典に三耕地の人々が集い、親ばくを深め歴史と伝統を守るこの意識をつないできたように思います。

大越三耕地の獅子舞は永徳3(1338)年に始まり、元文3(1738)年に武州埼玉郡飯積村(現加須市飯積)の若山重兵衛が荒木與治右衛門に伝授したと「平井祐作流獅子舞伝書」に書かれています。

もともとは、村の鎮守の鷲神社に氏子の安泰と五穀豊穰を祈願して始められましたが、現在は疫病除けの祭りとして、7月の第1週の土曜日に三耕地(宮東・宮西・利崎)の全戸を一軒ずつ舞って回り、無病息災を願う家人は、頭に獅子頭の幕をかぶせてもらうことができます。

大越三耕地の獅子舞は曲目も多彩で、呪術の要素を持ちながら鑑賞に値する舞曲としての技と芸が要求される華麗な舞です。また、獅子頭の形が龍であることから、品格があると定評があります。

参考文献 「ささら 加須・大越三耕地の獅子舞」

山口 栄一著



紹介者 黒田 茂子さん(大越)